

沖縄の農林漁業者と中小企業のチャレンジ

ブランド野菜の加工食品で県外市場開拓

沖縄ブランド

野菜シリーズ



有限会社 みどり食品
部長 渡慶次 瞳子さん

法認定業者（中小企業）
(有)みどり食品（食品製造業）

法認定業者（農林漁業者）
仲西栄一（久米敏助）（ニンジン生産）
新里聰（ピーマン生産）

と連携し安定供給を受け栄養価の高い産地限定惣菜や加工食品の開発を行ない県内外の販路開拓を行なう。

事業概要

沖縄本島南部で生産された野菜は、ミネラル分が豊富で甘味が濃厚と言われている。（有）みどり食品では系満産のにんじん生産技術を有する農業者（仲西氏、久米氏）八重瀬町にてピーマン生産技術を有する農業者（新里氏）

沖縄本島南部で生産された野菜は、ミネラル分が豊富で甘味が濃厚と言われている。（有）みどり食品では系満市や八重瀬町からの推薦がありました。新里さんは八重瀬町のピーマンのエコファーマーを取得してい60件以上の農家をまとめています。仲西さんと久米さんは糸満市のニンジン部会のメンバーです。みんなが作るピーマンもニンジンも色が綺麗で甘く、生で食べてもおいしい野菜なのです。どうしても規格外品が出ます。みどり食品は、長年、南部に拠点工場をおいて食品製造を行っているので、これら規格外品を地域の農家の安定収入に役立てたいという思いと、消費者の产地のわかる安全な食品へのニーズに応えたため連携して取り組むことで一致しました。

生産者インタビュー

今回の連携の詳細を
お聞かせ下さい。

どのような商品を開発したのでしょうか？

基本的には、ピーマンとニンジンの地元沖縄での普及と浸透を図るために、惣菜や加工食品に活用し新しい食方の提案を行いながら素材の認知を高めるPRをしていく予定です。今、具体的になりつつあるのは饅頭ですね、その他数種類の商品を同時に開発していますが、もともと饅頭を作つていましたが、去年から機械も導入して生産体制を強化しています。

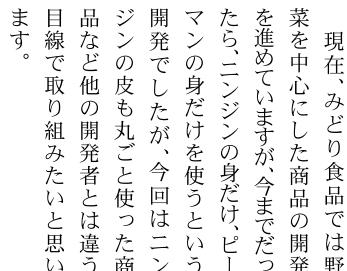
今後の展開

今年の目標は、この饅頭の製造販売を安定させることですが、2年目以降はちゃんぶるー、きんびら、チヂヤオロースーなど、産地限定の惣菜セットを開発し、県内量販店のほか県外で行なわれる沖縄の物産展に出品することが目標です。

上げるために、にんじん掘り機などの農機具の開発も手がけている。地域に密着したその姿勢は沖縄の農業の未来を見据えている。



野菜ペーストと饅頭



（有）みどり食品ではこれなります。



有限会社 みどり食品

〒901-0511 沖縄県島尻郡八重瀬町字港川222
TEL 098-998-3410 FAX 098-998-5326